

東京スペシャルインポートカーショー - 2009

AAAL情報委員会
東 宏志

6月19日(金)~21日(日)の会期で、東京スペシャルインポートカーショー(以下SIS)がお台場の東京ビッグサイトで開催されました。SISは、輸入車をターゲットに、チューニング、ドレスアップ、メンテナンスを目的としたイベントです。AAAL関連団体のNAPAC(日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会)が後援し、今回で6回目の開催になります。

出展者の中心は、大手メーカーから専門ショップに変わり、大型ブースよりも小さなブースが目立っていました。出展者数は過去最高の約300社になり、3日間で昨年25%アップの約72,000人が来場しました。



会場内は、世界各国の車両をベースにしたチューニング車が展示され、どのブースも賑わいをみせていました。日頃なかなか見ることのできない車両が間近で見られるのも、SISの特徴だと思います。いままでと違い、デモ車の展示だけではなく、オリジナル部品を展示しPRをするブースも多くありました。

主催者に聞くと、来場者のほとんどが輸入車に乗り、チューニングに興味のある「超車好きユーザー」で、景気に大きな影響を受けないそうです。

屋外のイベント会場では、SNSサイト「みんなカラ」から120台を集めた「みんなカラミーティング」や「インポート痛車ショー」などユーザー参加型のイベントが開催され、盛り上がりました。



以上